



企業研究会を開催しました

産業振興事業

ご存じのとおり平成26年度より就職活動に係る日程が大きく変更になりました。産業振興交流会としては、過去4回にわたり毎年12月に「企業合同説明会」という名のもとで、学生の就職活動を応援して参りましたが、この就職活動期間の変更により、本年度は2月に名称も「企業研究会」と改め、新しい形で学生の就職活動の応援を試みました。

本研究会は大きく2つの部に分かれており、第1部では会員企業様を中心に本校の学生の就職に関連の深い業界の3つの企業様から「社会が求める人材と心構え」と題して就職活動への心構えなどをご講演いただきました。また、第2部では16社の企業様にご参加いただき、個別に就職活動に関するアドバイス、さまざまな業界に関する基礎情報などを、face to faceでご指導いただきました。

参加した学生は本校の本科4年生や専攻科1年生の約90名です。参加した学生からは、普段、企業の方と話す機会がないこともあり、企業ブースでの個別の懇談は大変良い経験になったとする話が数多く聞かれたほか、これらから就職活動に向け貴重な情報を得ることもできたものと考えます。

研究会そのものは、大変盛況で成功裏に終了できたと思っておりますが、先にも述べた就職活動期間の変更が学生の就職活動に与える影響なども手探りのまま、会の実施に踏み切りました。その意味で、今後開催時期等も含め様々な角度からこうした会のあり方について検討する必要も感じた会でもありました。このような会が学生諸君の就職活動にとってより有意義なものにしていくためにも、皆様からも様々なご意見を聞かせいただければ幸いです。



新副会長就任の挨拶

地域交流センター長 水井 真治

昨年5月の総会から新しく副会長の任に当たっています。せっかくの機会ですので、本校のセンター及び地（知）の拠点整備事業について簡単にご紹介させていただきます。

まず、本校地域交流センターは、充実した施設や設備を広く地域に提供し地元発展に寄与し、本校の教育にも役立てることを目的として活動しています。

次に、地（知）の拠点整備事業は、大崎上島町・住民及び全国離島に関わる団体等と連携・協力し、離島社会のニーズに沿った教育・研究・社会貢献を推進し、地域社会に貢献できる人材を育成するとともに、離島社会の振興・活性化を目指す事業です。地域の発展に寄与したいと考えておりますので、気軽に声をかけていただき、課題解決の一助になるような活動を目指しています。

先端企業見学会

産業振興事業

産業振興交流会では、会員様企業の技術力の向上や最先端技術への知見を深めることなどを目的に毎年最先端企業への見学会を実施しています。今年度は3月26日(木)に三原市、本郷にある「株式会社古川製作所」にて最先端包装機器の製造について見学して来ました。

古川製作所は、包装機、真空包装機、充填機など多くの製品を造り出している企業で、食品・医療関連品・工業製品等、各種包装機械の製造・販売を手がけ、あらゆる包装ニーズに対し、経済性とシステム性を追求、高いクオリティーの製品を設計・製造している地域における優良企業です。

特に、真空包装機器は国内で初めて開発した実績を持ち、包装機器メーカーとしては国内シェアは40%と、その技術力には定評があります。本見学会では、そうした技術力の一端を見せていただきました。本校の卒業生も是非こうした地元の企業で活躍してほしいとの感想を持ちました。

会員企業懇談会

地域イノベーション推進事業

企業の抱える問題や要望・将来展望などを探り本校のシーズとの融合を図るとともに、地域イノベーションを創出することを目的として、毎年会員企業様を訪問しています。本年度は、大崎上島島内およびその周辺域の会員様を中心に以下の6社を訪問しました。

◆訪問企業

- 大崎汽船株式会社
- 山陽商船株式会社
- 中尾醸造株式会社
- 株式会社契島運輸
- 介護老人保健施設みゆき
- 岡本醤油醸造場

若手研究者助成制度

地域イノベーション推進事業

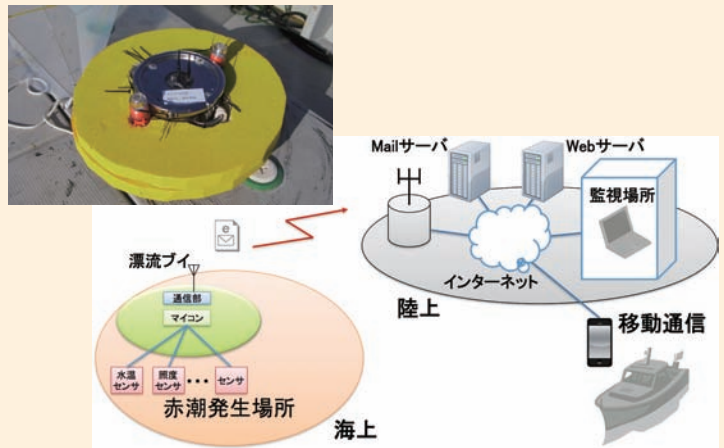
学生を含む若手の研究者に対する研究助成を2件交付しました。この制度は地域コミュニティの活性化や特色ある研究をする会員の若手研究者(学生の場合は指導教員が会員)に研究助成することを目的としています。

成果報告

赤潮の環境モニタリングシステムにおける観測項目拡張に関する研究

柴田●●

日本沿岸海域において、夏季に発生する赤潮は、沿岸海域の養殖業に対して甚大な被害に至る原因の一つであり、重要な社会・経済問題となっている。本課題に対して、赤潮の移動状況と周辺海域の情報を観測するための漂流ブイを使用したシステムについて研究している。本研究課題では、観測システムにおける観測項目拡張について研究した。これまで水温センサ、照度センサを搭載しており、今回は、クロロフィルa濃度と濁度の各センサについて基礎実験を実施した。本センサにより、赤潮の環境モニタリングへ適用することで赤潮の理解への貢献が期待できる。今後は、本センサの精度を高めるとともに、実際の観測ブイへ適用することが挙げられる。



櫂伝馬をはじめとする木造和船の造船についての現状調査

商船学科 助教 木下恵介

近年、木造和船を造る船大工の激減により、櫂伝馬をはじめとする木造和船を造り続けることができなくなっており、地域の伝統行事そのものの存続が危惧されている。

そこで本研究では、船大工を取り巻く現状を知るために、瀬戸内地域に在住する船大工の存在の調査を行なった。大崎上島周辺に在住する船大工及びその経験者を対象として、聞き取り調査を行なった。結果として、大崎上島、大崎下島、鞆、大三島、伯方島、今治において、主に6名の関係者から聞き取りを行なうことができた。しかし、いずれの関係者も高齢であり、現在も木造和船を建造しているという方は1名のみであった。このことから、木造和船の工法を後世に残すことは喫緊の課題であることが確認できた。船釘やマキハダといった材料についても、多くの知見を得ることができたが、これらもまた作り手がいなくなっているという問題が浮き彫りとなった。

以上のように、本研究では現状の調査のみにとどまったが、今後は大崎上島に現存する櫂伝馬について、造船技術の伝承を目的とした技術面での詳細な調査を行なうことを考えている。



図1 船大工の手による模型船



図2 木造和船の建造に欠かせない船釘

会員紹介

会員様のご紹介や取り組みなどを順次(五十音順)、本誌面上にてご紹介いたします。
会員交流にご利用ください。

中尾醸造株式会社

〒725-0026 広島県竹原市中央五丁目9-14
0846-22-2035
sake@maboroshi.co.jp
http://www.maboroshi.co.jp

事業内容：日本酒の製造

弊社は創業、明治4年「廣島屋」という屋号で酒を醸したことに始まります。日本酒「誠鏡」の由来は、「杯に注いだ酒の表情を鏡にたとえ、蔵人の誠の心を（味に反映させ）映し出してほしい」という願いを込めて、「誠鏡」の酒銘柄が誕生しました。

以来、初代の「誠心誠意」の精神を受け継ぎ、丹精込めて酒造りを行っております。

現在は吟醸酒に特化した蔵として、これからも地元の米と水で、郷土料理に合うお酒を目指していきます。



中国通運株式会社

〒725-0002 広島県竹原市西野町2102
0846-29-1270
info@chutsu.co.jp
http://chutsu.co.jp

事業内容：物流業

弊社は昭和36年の創業以来、倉庫業・貨物自動車運送事業・流通加工業を核とした物流サービスを提供してまいりました。「現場主義」をモットーに、お客様のニーズにあった「手作り」の物流サービスを提供できるよう日々取組んでおります。広島商船高等専門学校の卒業生はもちろん地域密着のメンバーが多く在籍し、地域社会、また、お客様から信頼されるロジスティックパートナーとなるべく、成長を続けてまいります。



中国電力株式会社 大崎発電所

〒725-0301 広島県豊田郡大崎上島町中野6208番地1
0846-64-3211
http://www.energia.co.jp

事業内容：電気事業



大崎発電所は、電力需要の多い広島市と福山市の中間に位置しており、全国でも珍しい離島にあります。

使用燃料を石炭とする最新技術の加圧流動床複合発電方式を採用しています。

環境保全技術を取り入れるとともに、瀬戸内海国立公園と調和をとるよう、本館建屋の下部には海のブルー、砂のサンドページュをはさんで空を背景とするボイラ棟に山のグリーンを配色しています。

発電所の敷地面積は約48万5千平方メートルで、マツダスタジアムの約10個分です。

《設備の概要》

定格出力：25万kW（蒸気タービンとガスタービンによる複合発電）

運転開始：平成12年11月30日、燃料：石炭

※休止時期：平成23年12月から休止中。

大崎クールジェン株式会社は、平成25年3月から酸素吹IGCC実証試験（平成29年3月～）のための建設工事を構内で行っています。

詳しくはホームページ→ <http://www.osaki-coolgen.jp>

学校紹介

広島商船高等専門学校 練習船 広島丸

広島丸は、国立広島商船高等専門学校の練習船で、「人にやさしい船」をコンセプトに広島県呉市にある株式会社IHI呉第一工場（現ジャパンマリンユナイテッド呉工場）で建造され平成9年1月20日に就航しました。学生が安全に十分な実習が行える教育設備を備えており、従来のディーゼル主機関に加えモーターによる電気推進も可能となっています。

広島丸は、学生の航海実習及び実験実習並びに船舶運航技術に関する実験・調査及び研究に供するとともに、海事思想普及のための公開講座や地域貢献として体験航海や海上教室などの交流の場に使用されています。



【広島丸 主要目】

総トン数：234トン

全 長：57.0m

全 幅：10.2m

航海速力：14.4ノット

航行区域：近海区域（非国際）

定 員：56名（乗組員9名、旅客0名、その他の乗船者47名）

主 機 関：ヤンマーディーゼル6N260L-UN

4サイクル非逆転式ディーゼル機関

1300ps



産業振興交流会事業

本会で展開する事業です

I：地域イノベーション推進事業

- ① 地域サービス事業 公開講座・文化セミナー・出前講座等の一般市民・小中学生向けの講座です。
- ② 若手研究者助成事業 学生を含む若手研究者に対する研究助成制度です。
- ③ 地域連携研究成果発表会 教員や学生による研究成果（シーズ）発表会を開催します。
- ④ ニーズ・シーズ・マッチングセミナー シーズと産業界や地域のニーズをマッチングさせるためのセミナーを開催します。

II：産業振興事業

- ⑤ 技術相談会 産業界の抱える技術的課題に対する相談会を開催します。
- ⑥ 技術講演会 産業界や地域に参考になる講演会を開催します。
- ⑦ 雇用促進キャリアセミナー 地元就職を希望する学生やリターン希望の卒業生にキャリアセミナーを開催します。
- ⑧ 共同開発推進事業 共同研究・受託研究・助成金・補助金等の外部資金の受け入れを推進します。

III：情報発信事業

- ⑨ ニュースレター発刊 会員及び学校の紹介レターを定期的に発刊します。
- ⑩ パンフレット発刊 会の紹介・案内パンフレットを発刊します。
- ⑪ ホームページ開設 会のホームページを開設し情報を発信します。

各種のお問い合わせや技術相談は

産業振興交流会事務局（広島商船高等専門学校 総務課）

☎ 725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野 4272-1

☎ 0846-67-3179 ☎ 0846-67-3009

✉ koho@hiroshima-cmt.ac.jp

🌐 <http://shinko.hiroshima-cmt.ac.jp>

入会にご協力ください

入会をご希望の方は、事務局までご連絡ください。申込書を送付させていただきます。

会費の納入にご協力ください

本会は、会員の皆様による年会費から事業を展開しています。年度始めの納入にご協力ください。